

The CIRCLE of CAD/CAM Dentistry

一般社団法人 日本臨床歯科CAD/CAM学会 第11回学術大会
2025年12月6日（土）7日（日）パシフィコ横浜会議センター4・5階

今回の見どころ

■演題： IOSによって可視化される支台歯形成

- 内容： 「デジタルは、技工士と歯科医師をつなぐ“ 共通言語” になります」 窪田努先生の講演では、そんなメッセージを受け取ることができるでしょう。IOSやCTを使えば、削除量・アンダーカット・歯髄や歯槽骨の位置まで可視化でき、支台歯形成を数値で共有できます。つまり、これまで“ 感覚” でしか伝えられなかった形成情報が、データとして技工士に正確に届く時代が来たのです。さらに、技工士がCADで設計した歯冠データをもとに、チェアサイドで支台歯形成データを重ねることで、削除量や形態の適正を即座に確認可能になります。この連携があれば、誰でも審美的で予知性の高い補綴物を製作でき、技術と美の伝承も可能になります。デジタルが“ 見える補綴” を実現し、歯科医師と技工士が本当の意味でチームになる日が到来しています！

■日時： 12月7日（日） 10:40～12:10

■会場： 501



参加登録はこちら

講演者プロフィール



窪田努先生

ご略歴

1990年 大阪歯科大学卒業
1993年 京都市左京区にてクボタ歯科開業
2003年 京都SJCD会長（2期4年）
2013年 クインテッセンス出版「Professional Dentistry」発刊
ザ・クインテッセンス連載
「歯科医院のためのDental Digital Communication実践法」
「歯科医師のためのKeynoteプレゼンテーション講座」
2016年 ザ・クインテッセンス連載
「Digital Dentistry時代に見直したい歯冠修復治療」
2017年 IDSにて、MR歯科治療シミュレーションを発表
2021年 クインテッセンス出版「とことんIOS」発刊